

臨床研究に関する情報公開について

西暦 2020 年 4 月 10 日 Ver. 2

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問合せなどがある場合には、以下の「問合せ先」へご照会ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名：	腰椎後方椎間固定術に対する脊髄神経後枝内側枝ブロックの鎮痛効果に関する検討
実施診療科：	医療法人財団荻窪病院 麻酔科
研究期間：	西暦 2019 年 10 月 29 日～西暦 2021 年 3 月 31 日
研究目的と意義：	腰椎後方脊椎固定術において、手術部位から清潔に行う脊髄神経後枝内側枝の神経ブロックの有効性を明らかにするため、過去に実施した臨床データを後ろ向きに解析し、従来の鎮痛法に Retrolaminar block という神経ブロックを加える意義があるかどうかという点を明らかにします。
研究内容：	<p>●対象となる患者さん 2018 年 11 月 1 日～2019 年 9 月 30 日の間に、1 椎間の腰椎後方脊椎固定術を受けた、手術実施時の年齢が 20 歳以上 90 歳未満の患者さん</p> <p>●利用するカルテ情報</p> <ol style="list-style-type: none">1) 性別、年齢、身長、体重、BMI、現病歴、アレルギー歴、手術歴、既往歴、強オピオイド（フェンタニル、塩酸モルヒネ、オキシコドン）使用の有無2) 血圧、脈拍、体温3) 安静時心電図4) 胸部単純撮影（2 方向）5) 臨床検査（血液学的検査、血液生化学検査、血液凝固検査、尿検査）6) 麻酔方法、神経ブロックの有無、フェンタニルの使用量 手術後の痛みの程度、手術後に痛み止めを使用した時間、 神経ブロックに関連した副作用 <p>●研究方法 カルテから情報収集します。</p>
問合せ先：	<p>【研究責任者】 医師名：吉松 貴史 医療法人財団荻窪病院 麻酔科 住所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 電話：03-3399-1101（代表）</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（本研究に関する相談窓口） 窓口：吉松 貴史（医師） 電話：03-3399-1101（代表） 受付時間：月～金 8：30～17：00（土・日・祝・祭日を除く）</p>

医療法人財団荻窪病院病院長